



しろね図書館だより

No.154

~ Since 2000 ~

発行 新潟市立白根図書館

新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510

shirone.cl@city.niigata.lg.jp

平成25年3月発行



寒さも緩み、少しずつ春が近づいてきたようです。
陽射しがあたたかくなると、自然と気持ちも上向きますね。



春はいまままでの環境が変化する時期でもあります。
新生活の前調べに、勉強の頑張りにも……
どうぞ白根図書館をご活用ください。

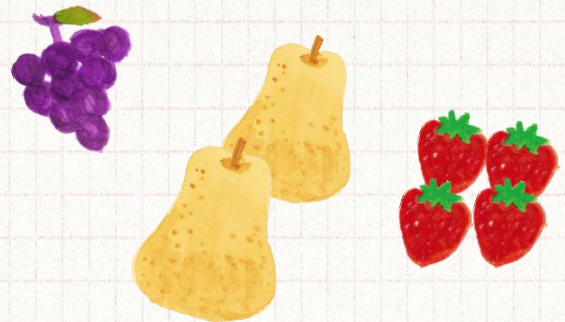
ご存知ですか？

新潟市南区スペシャルサイト

みなみ〜て

「みなみ〜て」は、昨年10月1日にリニューアルした
新潟市南区のスペシャルサイトです。
南区のイベント情報、おいしいお店の紹介など、
地域の魅力を伝えるトピックスが盛りだくさんです。
白根図書館の記事も掲載されています！

詳しくは下記のアドレスからご覧になるか、
「みなみ〜て」で検索してみてください。
<http://www.specialsite2.city.niigata.jp/minamiku/>



今月の展示架

春の
音楽祭



白根学習館ラズベックホールでは、3月30日にコンサートが開催
されます（受付は締め切らせて
いただきました）。

この機会に音楽に関する資料を
集めました。

あなたはどんな音楽が好きです
か？



2月の読書会

今月のテーマ

ほのぼのとした本 ほっとした本

2013年2月17日

日曜日



No. 148

○「おバカさん」『遠藤周作全集5』

遠藤周作著 新潮社、1999

昭和34年に朝日新聞で連載された、遠藤周作初めての新聞小説。主人公のガストン・ボナパルトが「おバカさん」ということなのだが、普通にバカという意味ではなく、作者談話によれば、母親がいたずら小僧をやさしく叱っている感じということらしい。ガストンの造詣は、ドストエフスキー『白痴』の主題に連なる、著者独自のイエス・キリスト解釈に基づいている。

○『庶民烈伝』 深沢七郎著 新潮社、1970

『楢山節考』などで有名な異色作家の短編集。「おくま唄歌」は、畑を耕したり鶏を育てたりしているおばあさんの話。娘が大好きなのだが、それを直接表現するのではなく、孫を可愛がることで娘への愛情を確かめる。デビューしたとき、三島由紀夫にも評価されたが、作風は正反对で、書き言葉というより読んで聞かせるような文体。

○『夏の栞』 佐田稲子著 新潮社、1983

中野重治が逝去したときの様子を綴ったエッセイ。昭和の文豪たちとの記憶、中野重治の死の間際の状況が描かれている。「中野重治よ、安らかに眠れ」というような内容。「政治の季節」を生きた文学者たちにもこんな一面があったのかと胸をうたれた。

○『てぶくろがいっぱい』

フローレンス・スロボドキン／文
偕成社、2008

手袋を片方なくした双子の家に、次々と落とし物が届けられる。そのうちに、双子の家のものほしロープは手袋でいっぱいになってしまい……。心温まるストーリー絵本。

○ガブリエル・バンサンの絵本

『アンジュール ある犬の物語』

BL出版、1986

一匹の捨て犬の物語を、言葉を使わずに、鉛筆のデッサンだけで描いた絵本。言葉はなくとも、街をさまよう犬の寂しさ、不安がひしひしと伝わってくる。動物の物語はたくさんあるが、例えば日本の神話や昔話とは違い、ヨーロッパ的な内面を描いているように感じた。

他に『老夫婦』『くまのアーネストおじさん』シリーズなど。絵がリアリスティックで迫力がある。

○『銀河鉄道の夜』 宮沢賢治著 1934（初出）

推敲が繰り返され、未完成のまま作者が逝去したため、幾つかの版がある。生前、一般読者にはほとんど無名だったが、やはり文芸関係者には高く評価されていたらしい。農業指導、地質学、宗教信仰、エスペラントなど教養豊かで、汲んでもつきない深い世界観を持った作品ばかりである。『銀河鉄道の夜』は童話とはいっても、大人が何度読んでもその度に考えさせられる名作だと思う。

次回の読書会

3月17日(日)午後2時～

3月の読書会のテーマ

「卒業した人に 贈りたくなる本」

3月といえば卒業シーズンですね。

これから旅立つひとに、
おすすめの本をご紹介します。

会場 白根学習館ルーム2

申込みはいりません。
気軽に本のお話をしましょう。
おいしいお茶とお菓子を用意して
お待ちしております。
しろね図書館友の会共催

その他に紹介された本

『ふたいはいつも』
アーノルド・ローベリ作
『かあさんのいす』
ベラ・E・ウィリアムズ作
『雪のひとひら』
ポール・キャロル作

参加者5名



読書会は好きな本を持ち寄っておしゃべりする午後のお茶会のような集まりです



『空へつづく神話』

富安陽子/作
広瀬弦/絵 偕成社



今回は、富安陽子さんの長編ファンタジーをご紹介します。

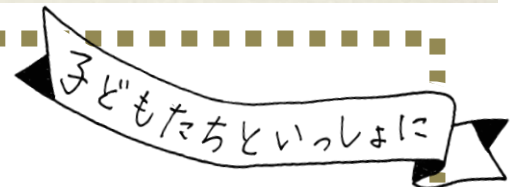
小学生の理子の前に突然現れた、白ひげのおじさん。この白ひげのおじさんは、ジジン（地神）といって土地神（とちがみ）でした。自分の名前や還る場所を忘れてしまった神様に頼られ、理子とヒゲさん（地神）の記憶をたぐりよせる手がかり探しが始まります。

まず1つめの手がかりは、ヒゲさんの出現とともに手にした『津雲の史蹟』。理子が住む市、津雲の郷土資料でした。史蹟や伝説について書かれた、この本をきっかけに謎から謎へ。やっとみつけた手がかりから、ヒゲさんの失われた記憶、失われた歴史が明らかになっていきます。すべては、名前や事実が変わった事に関わりがあるようです。

古い地図や本を見てもなかなか現在の場所を特定するのは難しいものです。地名や、名称は変わってしまう事があります。この本のなかでも、かつて津雲は、^{つぐも}九十九^{しせき}だったし、^{ろっこさん}六箇山（地元の山の名前）は、今では^{きょうがく}教学の森と呼んでいて、さらに昔は、^{しらがみやま}白髪山と呼ばれていました。名前には大きな力があり、意味がある—という事を感じます。そして、理子が調べてみようと思った時、向かった先が図書館というのがうれしいですね。

読んでいると、史蹟や伝説には、秘められた歴史があるんだなあ、と胸がわくわくどきどきしてきます。きっと自分の育った場所のことを、もっと知りたくなります。先人たちが未来に残していきたいと守られてきた“もの”をみつけてみませんか。

「ちいさいおうち」



主人公は丘の上に建つ、とても頑丈につくられた小さなお家。

しばらく静かに暮らしていましたが、ある時を境にどんどんどんどん家の周りが騒がしくなってきた。都会へと変貌していく周囲に比べ、ポロポロになっていく小さいお家が切ないですが、どんなに世の中が変わっても、自分が暮らしやすいところが一番だ・・・と感じさせてくれる1冊です。



ばーじにあ・りー・ばーとん文と絵
いしいももこ訳
岩波書店

実はこの絵本、山田洋次監督の映画「東京家族」にチラッと出てきたのですが、観た方いらっしゃいますでしょうか？興味のある方は、是非とも映画とともに楽しんでもらいたい作品です。

(早川)

さようなら

しろね図書館 ブックバス

ラストランへ



子どもたちに本を届けて13年、
本を通してあたたかな交流がありました。
運行にご協力いただき、
ありがとうございました。



ブックバスは、白根図書館開館の平成12年からスタート。ラ
スベックのロゴマークが大きく入ったキュートな車体に約
1600冊の本を積み、南区の小学校を中心に巡回してしま
しましたが、25年3月をもって、終了します。

冬季間の運休をあげ、2月28日から3月14日まで、各学校
へ最後の巡回を行っています。

長年ブックバスの運転をして
くださった渡辺さんから一言
*毎回、安全第一にやってきた。
終わると思うとさびしくなります。



各学校への最終運行日

学校	停車時間	巡回日
庄瀬小学校	13:00~13:25	3/4 水!
白根小学校	13:10~13:30	3/5 水!
白井小学校	13:00~13:30	3/4 水!
新飯田小学校	10:15~10:40	3/7 水!
味方小学校	13:10~13:35	3/7 水!
根岸小学校	児童限定	3/11 水!
小林小学校	児童限定	3/12 水!
大通小学校	13:00~13:40	3/12 水!
茨曾根小学校	10:15~10:35	3/14 水!
大鷲小学校	児童限定	2/28 水!



イラストは大鷲小学校児童の
作品です。2/28に子どもたちから
「ありがとうございました」の
言葉と一緒にいただきました。
とてもうれしい、宝物です。



★ブックバスで借りた本を、直接新潟市立
図書館に返してもOKです。

4/3までの行事



おはなしのじかん
毎週土曜日

絵本のみかたり 14:10~
ストーリーテリング 14:30~

おはなしかご例会
第2、第4週土曜日

3/ 9(ルーム4・5) 10:00~
3/23(ルーム4・5) 10:00~

3月7日(木)

白根図書館運営協議会
13:30~

3月17日(日)

読書会(ル-42) 14:00~

白根図書館休館日

毎週金曜日・毎月第一水曜日

3/8(金) 3/15(金) 3/22(金) 3/29(金) 4/3(水)

4月の
ブックスタート
は16日(火)です。

2月の来館者数…… 13,759人

行ってみよう!
GO! 図書館



※ブックバスでお使いのカードで、新潟市の
図書館を利用できます。

新潟市内のいろいろな所に図書館があり
ます。まずは、白根、月瀧、瀧東、黒崎など
最寄りの図書館へGO! 開館時間や休館
日をチェックしてね。図書館には、ブック
バスにのせきれなかったたくさんのお本や、
雑誌がありますよ。

おはなし会など、楽しいイベントも行って
います。図書館でまた
会えるといいなあ。

